

(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業

「基本構想(素案)策定に向けた考え方」に対する意見募集の実施結果について

ご協力ありがとうございました。



5月に実施したワークショップのご意見などを踏まえて作成した標題の資料について意見募集を行いました。また、本事業について期待することや配慮してほしいことなどのご意見もいただきました。実施結果を整理し、まとめましたので、ご覧ください。

いただいたご意見は、基本構想(素案)の策定にあたり参考とさせていただきます。



実施期間	令和5年10月20日から11月10日まで
応募件数	20件(豊岡地区、鶴見中央地区在住の方19件、その他地区(区内)の方1件)
関連イベント	基本構想素案の策定に向けた意見交換会(意見交換会2) 意見募集実施期間中に、豊岡小学校保護者の方および地域の方との意見交換会を開催しました。その開催記録も、ぜひ、ご覧ください。 掲載URL： https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/toyooka/toyookacm.html

ご意見

◆事業の内容について

■目的の明確化

- ・生活の不安を抱えている子ども達や子育て世帯が安心できるように、「ここに来れば大丈夫」という明確なメッセージを出してほしい。
- ・何に困っているか、何を先に解決しなくてはいけないのか、きちんと考える必要があると思う。
- ・敷地の狭い小学校に複合化することで、子どものための施設を減らすのは反対だ。
- ・小学校は老朽化しているので、安全面でも建替えが必要だと思うが、複合施設にする必要性を感じない。
- ・基本的には賛成。都会の駅前で限られた中で様々な機能を含む施設を建設しなければならないこと、そこで複合型にすることに異論はない。
- ・豊岡商店街の活性化や中高生の勉強の場の要望があるようだが、このプロジェクトで解決できない内容と思う。
- ・複合施設にすることは反対。
- ・「なんのために複合施設再編をするのか」の目的・テーマが希薄な内容と感じる。老朽化を更新するだけにならないよう、「豊岡町の将来、100年先」を見据えたビジョンを明確に提示し、取り組んでほしい。

■コンセプトについて

- ・言葉の問題で学校活動や町内会活動に加わる方が少ないので、外国籍の方が日頃からコミュニケーションを取れる交流の場ができるとよいと思う。
- ・色々な年代が通える場所になると、新たな交流が生まれてよいと思う。

■施設と地域の関係性について

- ・図書館、保育園が移転すると、東口に住んでいる人の足が遠のくので残念だ。西口と東口で不公平感がある。

■これからの地域に必要な機能

- ・知っている人だけが使う施設にならないように、施設整備とオンライン情報の掲載システムをセットで考えて、地域住民が利用しやすい施設を目指してほしい。
- ・単に複数の施設がまとまってあるだけにならないように規則を組み込むなどの仕組みづくりを議論してほしい。老若男女が関わりあうといったテーマ・構想につながるように実現性含め検討してほしい。

◆事業の内容について(つづき)

■これからの地域に必要な機能(つづき)

- ・大人になってスポーツをする場所がないので、体育館などを貸出してもらえると嬉しい。
- ・公園などの遊び場が少ないので、遊べる場所も確保できると嬉しい。
- ・小学校と保育園、日本語教室との複合化は、保育園から小学校への円滑な移行、多文化共生の点から重要だと思う。
- ・日本語教室は、英語などの語学教室として再編すると利用者が限定的にならないのでよいと思う。
- ・アクセス性がよいので、通級指導教室を設置してもらえると利用の選択肢が広がると思う。
- ・理科・科学系の習い事が周辺にないので、複合施設の機能に入ると嬉しい。
- ・わっくんひろばも複合施設に入ると行きやすくなるので移転してはどうか。
- ・複合施設に行政手続きの窓口があると嬉しい。

■民間機能について

- ・子どもの学びにつながらない民間機能が入ると違和感がある。
- ・複合施設に加える民間機能は小学校や保育園につながるのある内容として、そぐわない民間機能が併設されないようにしてほしい。
- ・昔ながらの地域を支える施設との関係が気になる。
- ・スポーツジムやプールが赤字になった場合にどうするのか心配だ。近隣既存施設があるので、利用見込みの試算など慎重に行ってほしい。
- ・小学生や保育園児の教育や育児サポートを利用者に依頼する一方で老人施設利用料を安価に設定するなどの相乗効果を図るような老人施設や食堂運営などが有効と考える。また、食堂施設は給食や一般営業などで収益向上も考えられる。

■複合化に対する配慮事項

- ・不特定多数が利用する図書館と、保育園、小学校が複合化することで、セキュリティの点が心配だ。不特定多数が施設内にいるので、従来の小学校に比べたらセキュリティに不安がある。
- ・複合化により子どもが遊ぶ・学ぶ空間が狭くなり、子どもの健全な発達を阻害してしまわないか心配だ。子どものための豊かな空間を確保することが難しければ、図書館は現在の敷地で設置することも検討が必要だと思う。
- ・機能を盛り込み過ぎて、無駄なスペースや人材が発生しないか心配だ。

■機能の必然性

- ・小学校の周辺には既存の保育園があるので、複合施設にあえて保育園を入れる必要はないと思う。
- ・図書館は公共性が高いので、より利便性の高い駅周辺のビルなどへの移転が望ましいと思う。

■施設のハード面について

- ・小学校の建替えが元々の目的なので、十分な面積が確保できるようにしてほしい。
- ・小学校のグラウンドは今の広さでは狭いので、十分に確保してほしい。
- ・老若男女、ワンストップスペースとして1階に直接入れるよう入口をピロティとして作ってほしい。栄区の「さかえすた」は関係者以外は入りにくい作りだと思う。
- ・シークレインのような、ものすごく中途半端な複合施設にだけはならないでほしい。

◆期待すること

■子どもの居場所

- ・小中学生が雨の日にも集まれる場所になるとよい。
- ・駅周辺には子ども達のがのびのび遊べる場所が少なかったり、有料だったりするので気軽に通えないので、子ども達が安全に過ごしたり、周りを気にせずのびのび遊んだりできる室内施設を増やしてほしい。
- ・子どもに関する機能を複合化して、幼児から中学生まで過ごせる場になるとよい。
- ・虐待対応件数や一時保護者数、不登校が他区に比べて圧倒的に多い。それを少しでも減らしていけるよう、今回のような施設再編整備の機会ですれらに対応できる機能をしっかりと鶴見区に置けるとよいと思う。

■まちや地域活動の活性化

- ・地域住民が使いやすく、地元団体の支援、応援ができる場所にしたい。
- ・ますます鶴見の人気が高まることを期待している。
- ・生涯学習や、まちの活気につながる活動を支援する場となること。
- ・少子高齢化に柔軟に対応できるように複合施設を再編することを期待している。
- ・子どもと高齢者が接点を持つ仕組みを導入し、まちの活性化につながることを期待している。
- ・商店街と近い立地を活かして、まちの活性化や子ども達が様々な体験ができる場となるとよい。

■交流の促進

- ・外国籍の方達の交流の場になること。

◆期待すること(つづき)

■機能の充実

- ・勉強や読書のためのスペースを広く設けてほしい。
- ・公的な施設の利用は平日のみで、土日に活動するための場所は使用料がかかるので、小中学校のPTAで土日に会合する場合の場所として活用したい。
- ・もっと多様な施設にすべき。特別支援学校との交流や発達支援施設との連携などインクルーシブ教育の発信の場として、もっと踏み込んだことをやって地域の子供の将来のために役立ててほしい。
- ・青少年の地域活動拠点や不登校の子ども達の居場所、里親支援センターなど、現在鶴見区にないものを導入してほしい。
- ・子育て支援拠点「わっくんひろば」、乳幼児健診やワクチン接種会場、子どもの一時預かりが入ると、子育てのことはここに来れば対応できる場になってほしいと思う。
- ・今後、区役所に設置されることも家庭センターもここに移転ができるといいと思う。

■安心・安全

- ・各施設の利便性と安全性が向上すること。
- ・子ども達の安心、安全、健やかな成長を後押しすること。

■環境配慮

- ・SDGsの考え方を取り入れた施設になるとよい。

◆配慮してほしいこと

■教育環境の確保

- ・グラウンドが狭くならないか心配だ。土に触れることも重要なので、地面にグラウンドを確保してほしい。
- ・工事中、子ども達の生活環境が確保できるか心配だ。
- ・工事中の児童の勉強、校庭活動、キッズ活動が損なわれないようにしてほしい。音や振動などで子ども達が不安にならないか心配だ。
- ・仮校舎で6年間過ごすことになり、自分達には何もよいことがなかった、と思う世代をなくしてほしい。

■安心・安全

- ・小学校、保育園、キッズのセキュリティをしっかり管理してほしい。
- ・図書館や保育園が西口に移転すると、東口を利用する住民は、鶴見駅を横断するか高架下の狭く暗い道路を渡る必要があるし、小学校周辺は人ごみや自転車の往来が多く、そのような場所に子ども達が行くことに不安がある。
- ・複合施設になった場合に、災害時の避難場所としてどのように使うのか検討してほしい。
- ・子どもが迷子になったり、他の施設に紛れ込まないように、工事中は子どもの目線で事故が起こりにくい計画になるように配慮してほしい。

■利便性の確保

- ・トイレは引き戸にするなどバリアフリーに配慮してほしい。

■その他

- ・明確な理念、ビジョンに基づいて取捨選択のスピードを持って、事業を推進してほしい。
- ・図書館、保育園が移転した場合の跡地がどうなるか心配だ。現在と違う機能でもよいので大人がいる施設が残ると、周辺の子どもたちの安全安心が維持できてよいと思う。
- ・図書館が移転すると、鯉ヶ淵公園で遊んでいる子ども達が困らないか心配だ。
- ・保育園や図書館が目の前にあり、公園やグラウンドも魅力的でマンションを購入したので、移転した場合の跡地がどうなるか心配だ。
- ・鶴見中央から豊岡に行くときに線路下を通るが狭くて危ないので広くしてほしい。
- ・鶴見図書館や鶴見保育園の移転後も、図書の貸出・閲覧サービスを有する公共施設や保育園など、子ども達の居場所となる施設を設置してほしい。

◆プロジェクトの進め方について

■事業の進行について

- ・6年間全てを仮校舎で過ごすことになる児童が出てくるのは可哀想。子ども達が早く新しい校舎で過ごせるようにしてほしい。
- ・和式トイレなど、今の小学校において先に整備すべき場所があると思う。

■情報発信

- ・説明会や意見交換会についてあまり周知されておらず、申込期間も短いので、情報発信に力を入れてほしい。
- ・今後の検討進捗状況について情報提供をお願いしたい。

■工事中の懸念

- ・工事中に在学している子どもたちの生活、学習環境が心配だ。
- ・小学校の敷地の中で仮校舎と本校舎があり、子ども達の安全性や窮屈な活動制限に懸念があるので、仮校舎を建てる敷地を確保できるとよいと思う。
- ・工事中でも安心して勉強、遊びに集中できる場所の確保をお願いしたい。
- ・工事中に在学している子どもたちへの影響が心配なので、早めに情報発信をしてほしい。
- ・工事中に在学している児童への影響を考えて頂きたいのと、説明をお願いしたい。

■様々な立場の声

- ・小学校の児童や先生の意見も取り入れてほしい。
- ・住民目線で検討してほしい。
- ・老人施設や市民施設を入れるのではなく、子どものための施設となるよう、複合化する機能を検討してほしい。
- ・豊岡町にはわっくんひろばがあり、豊岡町にばかり子育て機能が整備されることに不満があるので、跡地についても記載して周辺住民の同意を得られるようにしてほしい。
- ・子育て支援の充実に向けて、民間の助成金の活用など、情報収集や地元の実践者の意見を取り入れてほしい。
- ・子育て世代として、鶴見保育園、鶴見図書館、豊岡小学校を普段から利用しているので、施設が複合施設として再建されることは、とても嬉しくわくわくする。

以上